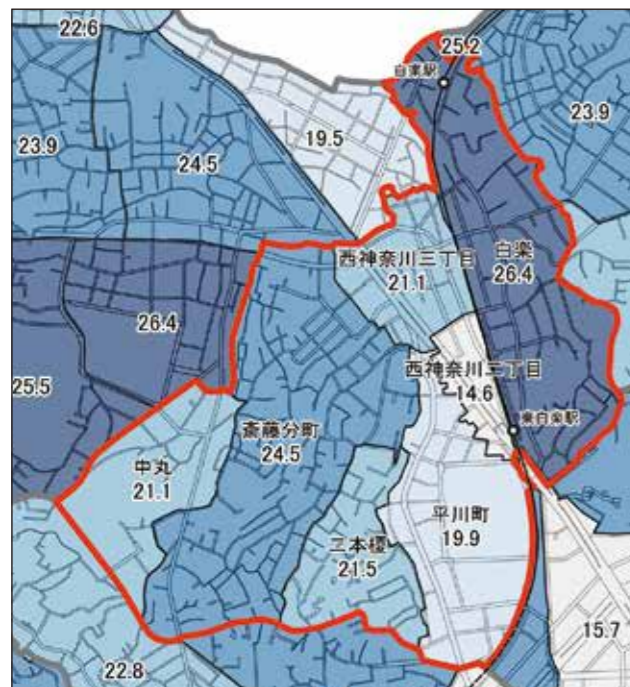
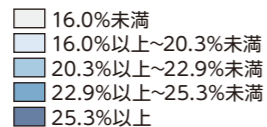


高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

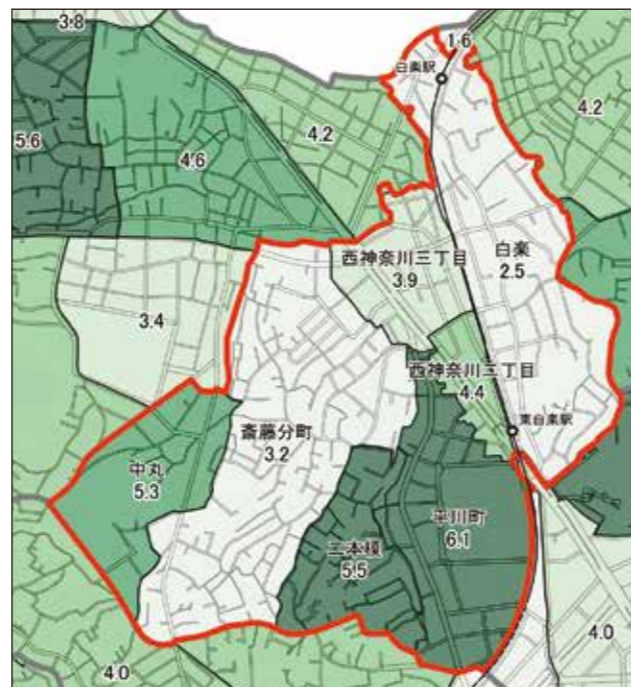
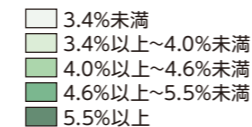
高齢者(65歳以上)比率(%)



未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

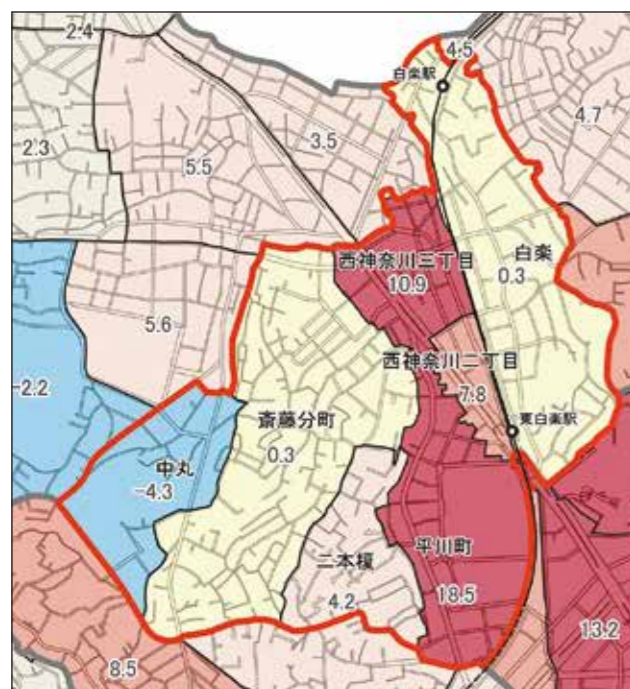
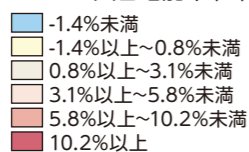
未就学児(0~5歳)比率(%)



人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)  
 ※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。  
 (令和3年3月時点)  
 ※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)  
 ※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。  
 ※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。  
 ※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

この計画は、住み慣れたまちで安心して暮らせることを目指し、地区内の様々な人・団体の想いが込められています。

区の計画や他地区の計画は、  
区HPをご確認ください▶



# みんなが「共に生きる」まち 神北

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 公立高校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



地区概要

地区全体が起伏のある丘となっています。  
 幹線道路横浜上麻生線や東急東横線が南北を縦断しており、白楽駅や東白楽駅が地区内に位置しています。  
 戸建て住宅が多い地区ですが、小規模な共同住宅もみられます。  
 北部には商店が、南西部には神奈川県立工業高校の他、教育施設が多い地区です。

人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	神北地区	神奈川区
総人口	11,208人	241,561人
0~14歳	1,100人(9.8%)	27,491人(11.4%)
15~64歳	7,588人(67.7%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	2,520人(22.5%)	53,136人(22.0%)

	神北地区	神奈川区
総世帯数	6,542世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.71人	1.87人
65歳以上ひとり暮らし世帯	913世帯(14.0%)	18,089世帯(14.0%)

## これまでの取組

連合を中心とした「神北地区エリア全体」での取組のほか、幹線道路横浜上麻生線を挟んだ「山側」と「平地側」で、地形によるまちの特性をふまえて、各町内会が中心となって様々な取組を行っています。

### 山側エリアの取組例

二本榎自治会、斎藤分町北部自治会、斎藤分町南部町内会、中丸町内会

- 地域カフェ
- 地域食堂
- 体操教室
- 登下校パトロール
- 防災訓練 など



▲地域食堂「しきよらら」

※地理的な高低差のみにより、山側と平地側に区別しています。

### エリア全体の取組例

- ふれあい大運動会
- 防災フェア ● ふれあい活動
- すくすくかめっ子 など



▲「防災フェア」

### 平地側エリアの取組例

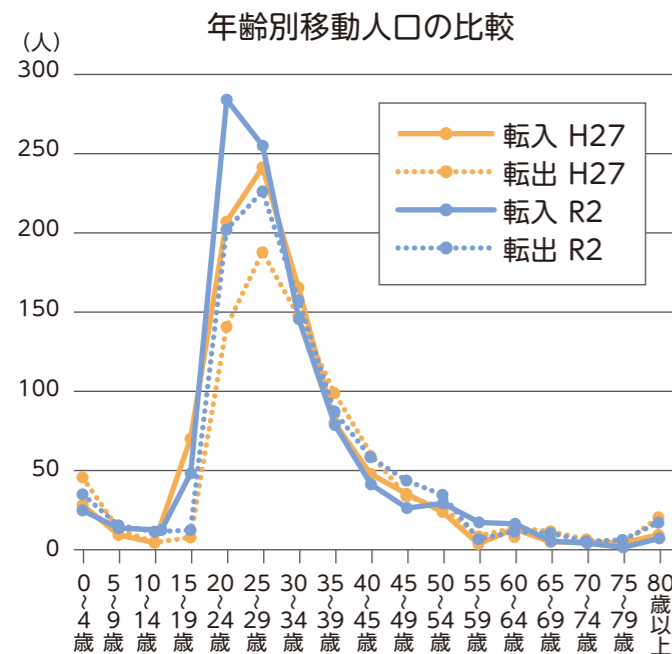
平川町北部町内会、平川町南部町内会、西神奈川二丁目町内会、西神奈川三丁目通り町内会、西神奈川三丁目町内会、白楽町内会

- 地域カフェ
- 町会広報紙の発行
- 健康麻雀 ● 防災訓練 など

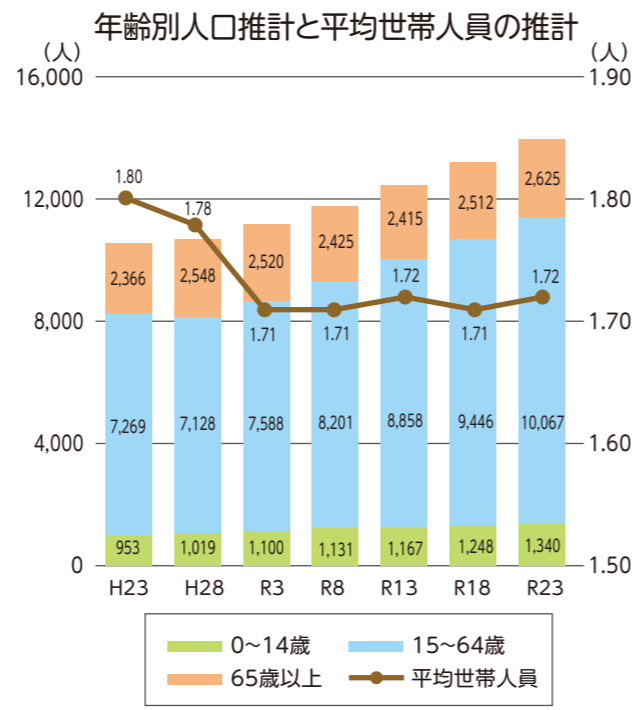


地域カフェ「カフェ三仲」▶

## 地区状況①



※各年の住民基本台帳(3月)



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# みんなが「共に生きる」まち 神北

## 目標①

いざというときに備え、これまで行ってきた取組を継続し、つながりの輪を更に大きくしていこう



### 【取り組むことの例】

- 誰もが孤立しないよう、ふれあい活動の取組を進めます。
- まち全体のイベントや、地域カフェ・地域食堂・体操教室など、誰もがいきいきと集える場を広げていきます。
- こども・学生・働く世代・障がい者・高齢者・外国籍の方など、誰もが自分のできることを楽しんで発揮できる機会を増やしていきます。
- これまでの方法に加え、まちの情報を発信する新たな手段を考えていきます。 など



▲「ふれあい大運動会」で住民同士が楽しく交流



▲認知症の方に対して何ができるか、斎藤分小学校生が、神奈川大学生の劇を通じて勉強



▲見守り活動について啓発「ふれあい活動員研修会」

## 目標②

地理的な困りごとをふまえて、誰もが暮らしやすい神北をつくろう

### 山側の町内会

#### 【取り組むことの例】

- 山坂などにより、外出や買い物が難しい住民の移動をお手伝いする取組を進めます。
- 「共に生きる」仲間として、エリア内にある神奈川大学と協力・連携します。 など



▲「中丸町内会お買い物シャトル」で買い物の移動支援(お店までの交通手段)

### 平地側の町内会

#### 【取り組むことの例】

- 日頃から挨拶・声掛けの実施などにより、マンションなど新たな転入者とまちとのつながりづくりを進めます。 など



▲若い働き世代が活躍する西神奈川二丁目町内会の「防災会議」